



快適なおでかけの準備

準備できたものには、□欄に✓印を入れて買い忘れチェック!

- ★★★★ 必ず準備
- ★★★ あれば便利
- ★ 必要に応じて

出産前に準備				
必要度	品名	目安数	選び方のポイント	目安価格(税込)
★★★	<input type="checkbox"/> カーシート	1台	カーシート装着は義務化されています。新生児から使えるタイプ(チャイルドシート)や、3歳児頃から使えるタイプ(ジュニアシート)など様々な種類があります。車種によって取り付けができないものがありますので、ご注意ください。	12,800円~
★★★	<input type="checkbox"/> A型ベビーカー	1台	生後1ヵ月頃から使用できます。お子さまの顔を見ながら押せる両対面タイプが主流です。	19,800円~
★★★	<input type="checkbox"/> だっこひも	1個	お子さまの成長に合わせて、ヨコだっこ、タテだっこ、おんぶと使い分けできるものがおすすです。ひとり座りができてからは簡易式が便利です。	4,800円~
★★★	<input type="checkbox"/> マザーズバッグ	1個	ショルダータイプやトートタイプなどデザインも様々です。	5,880円~

出産後に準備				
必要度	品名	目安数	選び方のポイント	目安価格(税込)
★	<input type="checkbox"/> B型ベビーカー	1台	おすわりができる7ヵ月頃から使用できます。最近では3~4歳まで使用できるものもあります。	9,800円~
★★★	<input type="checkbox"/> おでかけトイ	1~2個	おでかけの時のくすり泣き対策に。普段使っていないおもちゃの方が興味が長続きするかも。	880円~
★	<input type="checkbox"/> ママコート	1着	お出かけ時の防寒対策に。赤ちゃんをだっこひもで抱っこやおんぶしたままはおれます。	7,800円~
★	<input type="checkbox"/> だっこひもケーブ	1枚		2,980円~



ベビーカーの選び方

ハンドルの高さ

身長によってベストな高さが違うので、実際に押してみても確かめましょう。また、バタバタが使う場合のことも考えると、高さが調整できるものが便利。

大きさ

ベビーカーを置くスペースの広さはもちろん、車でのお出かけが多い場合はトランクの広さも要チェックです。

扱いやすさ

ベルトの着脱のしやすさや、折りたたみやずさもチェックしましょう。

安全性

安全ベルトやフロント部の安全ガードも、しっかりとチェックしたいポイントです。

重さ

バスや電車などで、赤ちゃんをだっこしながら、片手でベビーカーを持つことがあれば、できるだけ軽いものをおすすめ。

タイヤ

方向転換のしやすさや、小回りがきくかどうか。また、タイヤ径の大きさも乗り心地に影響します。

ベビーカーの違いと特長

安定感のある A型ベビーカー

生後1ヵ月頃~満2・3歳頃まで



両対面式ハンドル

小さいうちはママの笑顔が見えて安心の対面式。大きくなったら背面式で景色を見ながらお散歩できます。

ねんねしたままでもOK

1日のほとんどを眠って過ごす赤ちゃんへの配慮から背もたれを倒し、ベッドの状態にして、ねんねのまま乗せることができます。

軽くて便利な B型ベビーカー

生後7ヵ月頃~満2~4歳頃まで



背面式

ママの顔を見なくても不安がらない月齢になってくるので、背面式が主流です。

おすわりできる角度

背もたれは約110~140度。赤ちゃんがおすわりできるようになってから使うようになっています。

軽くて小回りがきくコンパクト設計

たたんで持ち運びしやすいよう、コンパクトに。また、階段の上り下り用にショルダーストラップをつけるなど、軽くて便利な設計です。最近では、3・4歳頃まで使用できるタイプがあります。

● ベビーカーは試し押しをおすすめします。

乗せて押すときの力の入り具合やハンドルの握り具合などを体感するには、試し押しが一番。あとは、どんな生活シーンでよく使うかが決め手になります。

● チャイルドシートは、しっかり比較検討を

チャイルドシートはデザイン性だけでなく、車種、車の台数、乗車の頻度なども考えて選びます。高性能な商品だけに判断に迷ったら、ぜひ店頭スタッフにご相談ください。

※ここに示した必要数・価格はあくまでも目安です。 ※商品イラストはイメージです。